

令和５年秋の叙勲 矢田正江氏への伝達式：大使挨拶

２０２４年２月２８日

皆様、ようこそ日本大使公邸にお越し下さいました。

本日、ブラジルにおける日本語の普及に多大な貢献をされた矢田正江氏に叙勲を伝達し、矢田先生のご家族の皆様とお祝いできることを大変光栄に思います。

令和５年秋の叙勲において、矢田先生は「旭日単光章」を受章されました。

矢田先生は、日本の長崎県でお生まれになりました。昭和３６年（１９６１年）３月、中学校を卒業された直後、ご家族と共に日本を出発され、同年４月１２日にブラジル連邦共和国に到着されました。

昭和４０年（１９６５年）から昭和４１年（１９６６年）には、ロンドリーナ市日本語ラジオ放送局にてアナウンサーとして勤務されました。昭和４１年（１９６６年）に首都ブラジリア連邦直轄区へ移転された後、昭和４７年（１９７２年）からは夫君と共に写真店「FOTO JAPAN」の経営に携わられました。当時、当館で大型のレセプションや事業等を実施する際には「FOTO JAPAN」にお世話になったと聞いております。

平成２年（１９９０年）、タグアチンガ日伯文化協会日本語学校の日本語教師として勤務を開始され、平成３年（１９９１年）にブラジリア日本語普及協会へ入会されて以降、矢田先生は今日（こんにち）まで当地における日本語の普及、日本語教育の質の向上に尽力されています。平成４年（１９９２年）、ブラジリア日本語モデル校の日本語教師となられてからは、平成１２年（２０００年）には同校の教務主任、また普及協会の副理事長に、令和４年（２０２２年）には同校の校長、また普及協会の理事長になりました。

この間、矢田先生は、日本語教師としては学生を厳しくも温かく指導し、普及協会役員としては当地の日本語教師の指導力を高めるため、JICA や国際交流基金の協力を得つつ、新たな日本語教材の開発や教師研修の開催に努めて来られました。また日本語教育のみならず、日本文化の紹介にも尽力され、日系

人、非日系人を問わず、日本文化を普及する役割も担ってこられました。平成 7 年（1995 年）の日本ブラジル修好 1 0 0 周年の際には清子内親王殿下、平成 2 6 年（2014 年）には安倍総理夫人のブラジル日本語モデル校へのご訪問を迎えられ、平成 2 7 年（2015 年）の日本ブラジル外交関係樹立 1 2 0 周年には日本文化祭や書道展を開催されています。その功績が認められ、平成 1 7 年（2005 年）にはブラジル日本語普及協会が、平成 2 7 年（2015 年）には矢田先生ご自身が、外務大臣表彰を受賞されています。

矢田先生の、3 0 年以上にわたる日本語教育における第一線でのご活躍、また日本語や日本文化の普及に対する真摯な姿勢と献身的な貢献を称え、本日、矢田先生に対して「旭日単光章」を伝達させていただきます。

来年、令和 7 年（2025 年）は、日本ブラジル外交関係樹立 1 3 0 周年の記念すべき年であり、当地の日本語教育と日本・ブラジルの友好の更なる発展が期待されます。矢田先生におかれましては益々ご健在でご活躍を頂きたいと願っております。

改めて、矢田先生の御功績に敬意を表し、御家族、御友人をはじめ、矢田先生を支え共に活動をしてこられた関係者の皆様に感謝するとともに、お祝いを申し上げます。